

議会広報から

インタビュー

シリーズ第6弾

町制施行 100周年記念特集

宇美町の歴史を見つめてこられた方々に
スポットを当てることにしました。

地域活動を支えて28年婦人会長 宇美町連合婦人会長 吉留節子さん



吉留さんが婦人会活動に参加するようになったきっかけは、地元早見地区のお祭り「お十七夜」で披露する日本舞踊に取り組みられたことで、今でも毎年出演されています。

子どもたちからお年寄りまで楽しめる地域のお祭りに参加することで、「地域の皆さんと顔見知りになれる。また、子どもたちの成長も確認できるところがいいです。」と、宇美町連合婦人会が、頑張って支部活動を存続させている意義を語られました。

婦人会長を長く続けてこられた原動力は、「昔遊びの伝承活動」や「ふみの里まなびの森フェスタでの石けんづくり」等で、たくさん子どもたちと触れ合い、エネルギーをもらっているからだそうです。

糟屋地区の中でも婦人会が存続しているのは宇美町だけとなり寂しいですが、福岡県地域婦人会連絡協議会で、「博多どんたくパレードへの参加」や「九州北部豪雨災害の被災地支援活動」に取り組まれるなど、多くの仲間と共に地域を支えておられます。

吉留節子さんは、宇美町連合婦人会の会長を平成4年から現在も続けておられます。

婦人会は、女性がいきいきと活躍できるまち"うみ"をめざし、54人の会員のみなさんと、廃油を使った石けんづくりなどの環境活動、子どもたちを交通事故から守る交通安全活動、昔遊びをとおした学習支援活動をはじめ様々な地域活動に取り組まれています。

新しい会員も増やしていこうと、フラワーアレンジメントにも取り組み、作品を町民文化のつどいに出展されるなど、活動の幅を広げています。



町民文化のつどい



花いっぱい総会会場



婦人会では小学校や保育園の給食で使うてんぶら油の廃油を集めて、環境にやさしい石けんづくりに取り組まれています。

毎年ふみの里まなびの森フェスタで、子どもたちと一緒に石けんづくりに取り組まれています。子どもたちからは、「天ぷらあぶらから石けんができるなんて知らなかった。お家に持って帰って使ってみます。」との声も聞こえてきました。

議会からのお知らせ

議会を傍聴しませんか！

6月議会では、15名の方が傍聴に来られました。

議会は年4回(3月・6月・9月・12月)に定例議会が開かれます。
役場3階の傍聴席入口で住所・氏名を記入し、ご入場ください。

次回の定例議会は、9月4日に開会予定です。

※ 詳しくは宇美町議会議務局 (TEL092-934-2248) まで
お問い合わせください。

議会だよりへのご意見・ご感想をお待ちしております。

議会議務局のメールアドレスです。gikai@town.umi.lg.jp

【発行責任者】

議長 古賀 ひろ子

【議会広報常任委員会】

委員長 丸山 康夫

副委員長 平野 龍彦

委員 入江 政行

委員 安川 繁典

委員 南里 正秀

委員 時任 裕史

Gikaiboutyou Meter

議会傍聴メーター

2018年3月議会から
議会傍聴に来られた
人数です。

240